

湯沢砂防事務所

平成25年度補正予算の概要

<平成25年度補正予算のポイント>

- 平成23年7月新潟・福島豪雨や平成25年9月台風18号により土砂災害が発生した箇所において、砂防事業の推進を行い、再度災害防止を図ります。
- 新潟県中越地震で大きな被害を受けた芋川については直轄砂防事業を引き続き計画的に推進し、再度災害防止を図ります。
- 管内に存在する砂防設備の機能確保対策に計画的に取り組めます。



北 陸 地 方 整 備 局

湯 沢 砂 防 事 務 所

1

平成25年度 補正予算を含めた事業別予算総括表

(単位:百万円)

事業区分	平成25年度 当初(A)	平成25年度 補正(B)	平成25年度 合計(C) =A+B	当初比 (C/A)
直轄砂防事業費	4,218	1,393	5,611	1.33
直轄砂防事業	3,258	852	4,110	1.26
直轄火山砂防事業	960	541	1,501	1.56
直轄地すべり対策事業費	818	0	818	1.00
事業費合計	5,036	1,393	6,429	1.28

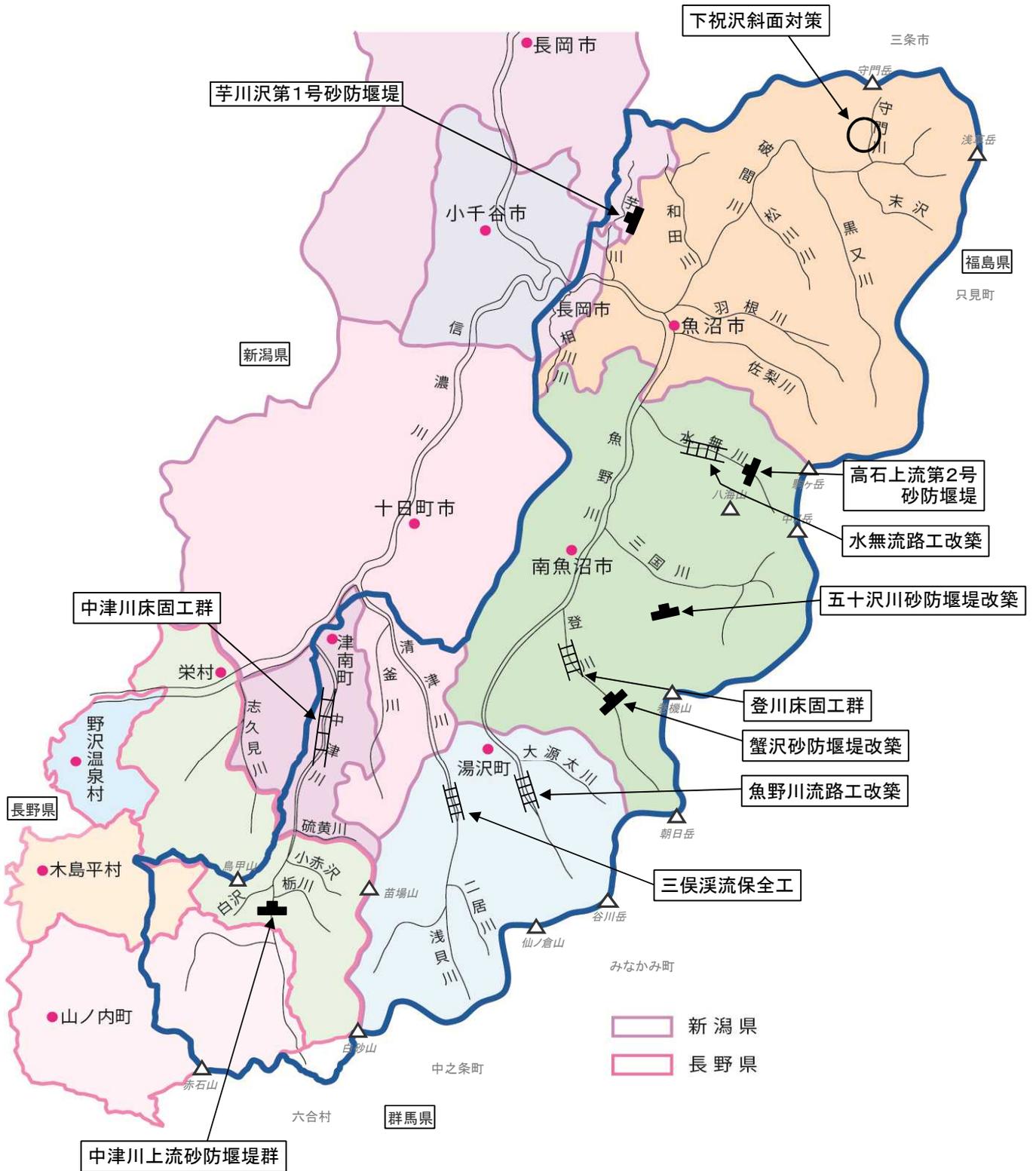
※1 業務取扱費を除く。

2

平成25年度 補正予算による実施箇所

＜砂防事業＞

河川名	支川名	市町村名	事業箇所名	計画概要	備考
魚野川	芋川	小千谷市・魚沼市	芋川沢第1号砂防堰堤	砂防堰堤工	完成
	破間川	魚沼市	下祝沢斜面对策	斜面对策工	
	水無川	南魚沼市	高石上流第2号砂防堰堤	砂防堰堤工	
			水無川流路工改築	溪流保全工	
	三国川		五十沢川砂防堰堤改築	砂防堰堤工	
	登川		登川床固工群	床固工	
		蟹沢砂防堰堤改築	砂防堰堤工		
魚野川上流	湯沢町	魚野川流路工改築	溪流保全工		
清津川		清津川	三俣溪流保全工	溪流保全工	
中津川	中津川	津南町	中津川床固工群	床固工	
		栄村	中津川上流砂防堰堤群	砂防堰堤工	



いもかわさわ さほうえんてい
芋川沢第1号砂防堰堤の推進
 にいがた おぢや うおぬま
新潟県小千谷市、魚沼市

事業の概要

新潟県中越地震により、芋川流域では多数の河道閉塞・斜面崩壊が発生しました。流域内では荒廃が進行しており、多量の不安定土砂が川底に堆積している状況にあります。

芋川流域の左支川である芋川沢は上流に崩壊地があり、河川の増水による土石流により下流に甚大な被害が発生することが予測されます。

整備効果

堰堤下流には主要地方道柏崎・高浜・堀之内線があり、堰堤により安全を確保します。また、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流域の安全を確保するとともに、再度災害を防止します。

平成25年補正予算の事業内容

芋川沢第1号砂防堰堤を完成させます。



施工中の状況



堰堤計画地点上流の崩壊地



芋川沢上流の崩壊地

しもいわいさわ しゃめん たいさく
下祝沢斜面对策の推進
 にいがた うおぬま
新潟県魚沼市

事業概要

信濃川下流域は、脆弱な地質が広く分布しているとともに急峻な地形を有しており、さらに多雨豪雪の厳しい気象的条件であることから、土砂生産が活発であり、昭和10年をはじめ、昭和44年、昭和56年等、過去に甚大な土砂災害が多く発生しています。

破間川の上流に位置する守門川では、H25.5月上旬に斜面崩壊が発生し、崩壊土砂が下流域へ流出する恐れがあることから、斜面崩壊を抑止するための砂防設備を整備します。

整備効果

砂防設備の整備により、直下流に位置する大白川集落及び魚野川流域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成25年度補正予算の事業内容

斜面崩壊を抑止し砂防堰堤の保全を行います。

位置図



たかいし じょうりゅう さぼうえんてい
高石上流第2号砂防堰堤の推進
 にいがた みなみうおぬま
新潟県南魚沼市

事業の概要

信濃川下流域は、脆弱な地質が広く分布しているとともに急峻な地形を有しており、さらに多雨豪雪の厳しい気象的条件であることから、土砂生産が活発であり、昭和10年をはじめ、昭和44年、昭和56年等、過去に甚大な土砂災害が多く発生しています。

水無川の左支川スナゴ沢は、土砂生産が活発で、多量の不安定土砂が厚く堆積しており、平成20年7月には、局地的豪雨による土石流が発生した痕跡も確認されています。

スナゴ沢や水無川上流からの流れ出た土砂や流木から、地域の安全・安心を確保するため砂防堰堤の整備を推進します。

整備効果

砂防堰堤の整備により、魚野川流域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成25年度補正予算の事業内容

砂防堰堤の整備を推進します。



スナゴ沢の土砂・流木流出状況
(水無川との合流部)



高石上流第2号砂防堰堤



のぼりかわとこがためこうぐん
登川床固工群の推進
 にいがた みなみうおぬま
新潟県南魚沼市

事業の概要

登川上流域は、荒廃の著しい谷川岳があり、川底には土砂流出が繰り返されたことによって多量の不安定土砂が厚く堆積しています。平成23年7月新潟・福島豪雨時も、上流から多量の土砂が流出しました。

登川下流部は、現在床固工等が未整備のため、増水時には流水の蛇行による局所的深掘れや流下土砂の堆積による川底上昇などにより洪水氾濫の危険度が高くなっています。

洪水氾濫の危険度を低減させるため、床固工等の整備を推進します。

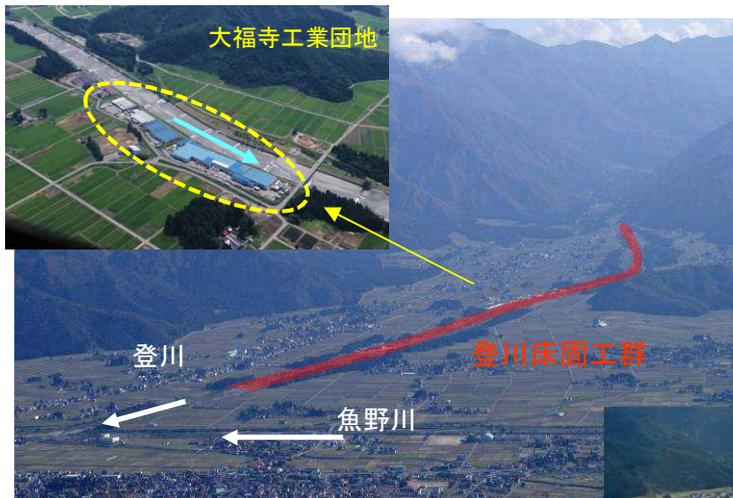
また、登川床固工群中・上流部においても既設の床固工下流において深掘れが発生しており、床固工を補強するとともに、全断面魚道を整備を推進します。

整備効果

床固工群の整備により、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による川底上昇に起因する流域内・下流域の土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成25年度補正予算の事業内容

床固工の補強を推進します。



平成23年7月新潟・福島豪雨では下流部で堤防決壊

うおのがわ りゅうこう
魚野川流路工改築の推進
 にいがた みなみうおぬま ゆざわ
新潟県南魚沼郡湯沢町

事業の概要

魚野川上流部は、谷川岳を水源とする平均川底勾配1/21の急流河川で、上流域は荒廃地が多く点在しており、川底には土砂流出が繰り返されたことによって多量の不安定土砂が厚く堆積しています。地形が急峻なこともあり、ひとたび雨が降ると水量は急激に増加し、大きな被害をもたらします。

平成25年9月に発生した台風18号での増水においても魚野川流路工の周辺において溪岸の侵食や床固工下流の深掘が発生しました。

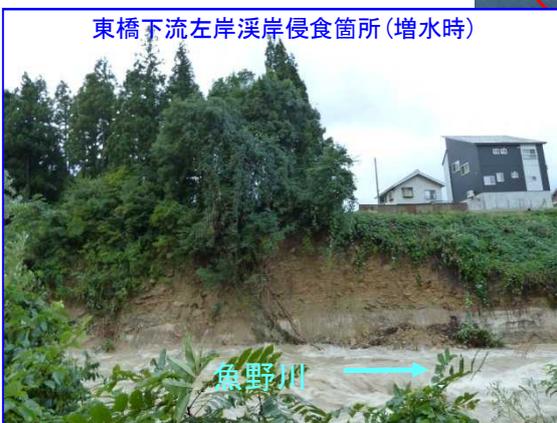
魚野川流路工において、下流域に甚大な土砂災害をもたらすことのないよう護岸工を整備します。

整備効果

護岸工の整備により、溪岸侵食の防止を図り、流出土砂による川底上昇に起因する流域内・下流域の土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成25年補正予算の事業内容

流路工・護岸工の整備を推進します



みつまた けいりゅうほぜんこう
三俣溪流保全工の推進
 にいがた みなみうおめま ゆざわ
新潟県南魚沼郡湯沢町

事業の概要

清津川は、荒が著しい白砂山を水源とする急流河川で、過去から多量の土砂が流出し続けています。

平成23年9月の台風12号による増水でも、上流から多量の土砂が流出するとともに、溪岸の侵食等の被害が沿川の至る所で発生しました。

清津川中流域の三俣地区は、日本海側と関東圏域を結び緊急輸送道路に指定されている国道17号と清津川とが並走しているとともに、湯沢町の主要観光施設があります。

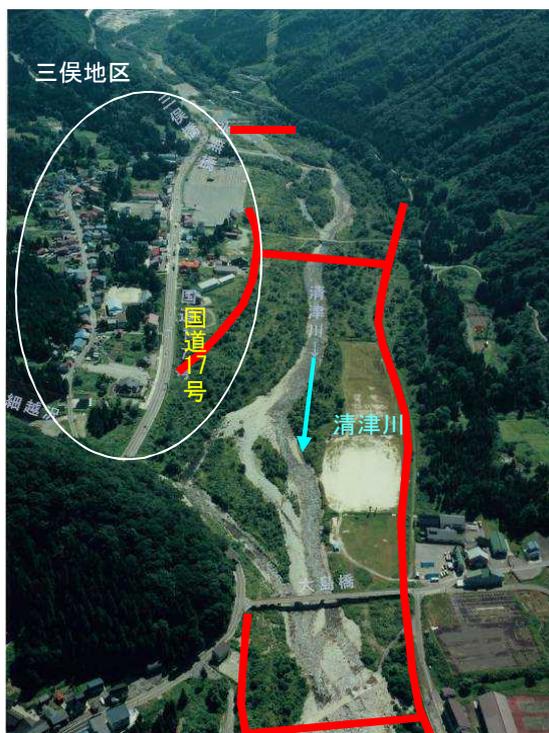
重要交通網の保全や清津川沿川地域の土砂災害を防止するため三俣溪流保全工の整備を推進します。

整備効果

溪流保全工の整備により、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による川底上昇に起因する流域内・下流域の土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成25年補正予算の事業内容

溪流保全工の整備を推進します。



清津川沿いに立地する三俣地区や国道17号等を保全するため、溪流保全工を整備します



平成25年9月 台風18号での増水により護岸が被災

なかつがわ とこがためこうぐん
中津川床固工群の推進
 にいがた なかうおぬま つなん
新潟県中魚沼郡津南町

事業の概要

信濃川水系中津川の下流では、上流からの流出土砂の堆積と偏流等により局所的に深堀が繰り返され、昭和56、57、58年に相次いで堤防・護岸等が決壊し、道路や公園、田畑等への被害が発生しています。

津南町の背後地整備計画である「中津川水辺プラザ」整備構想と連携し、自然豊かな中津川の河川空間を活かし、「交流の場づくり」「川とのふれあいの場づくり」を目指します。

整備効果

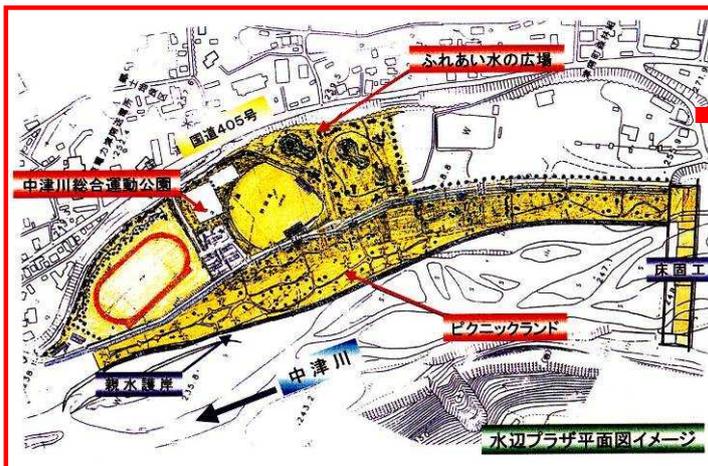
床固工群の整備により、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による川底上昇に起因する流域内・下流域の土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成25年補正予算の事業内容

床固工の整備を推進します。



平成25年9月 台風18号での増水状況
 (中津川床固工群 第3号床固工)



中津川水辺プラザ平面図イメージ



なかつがわ じょうりゅうさぼうえんていぐん
中津川上流砂防堰堤群の推進
 ながの しものち さかえ
長野県下水内郡栄村

事業の概要

中津川流域は、苗場山、鳥甲山等からの火山噴出物による非常に脆弱な地質で構成されているため、絶えず崩壊が繰り返され、多量の土砂を流出しています。

溪流内には崩壊地が多数存在し、川底には多量の不安定土砂が堆積しており、昭和56年8月の台風15号による豪雨で甚大な被害が発生しています。

砂防堰堤群の設置により、上流からの土砂流出を調節し、堰堤下流に位置する栄村の小学校を保全するとともに、下流の津南町を保全します。

整備効果

砂防堰堤の整備により中津川流域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成25年補正予算の事業内容

中津川上流砂防堰堤群及び溪流保全工の整備を推進します。



位置図



下流の屋敷地区

